



新スカウト会館前にて

日本連盟理事長  
1939年生まれ  
愛媛・宇和島第一隊出身  
早稲田大学ローバー隊OB  
早稲田大学第14代総長  
現在、早稲田大学名誉教授  
(おくしま・たかやす)

## ボーイスカウト関係著名人インタビュー

# 奥島 孝康

今月号より、スカウト運動に関わりをお持ちで、各界で活躍される著名な方々のインタビューを連載でご紹介します。第1回は、日本のスカウティングの改革に取り組む、奥島理事長にお話を伺います。

——奥島理事長は13歳の時、郷里の宇和島でちかいを立ててスカウトになったとのことですが、法律学者になり早稲田大学総長を務めたその後の人生にスカウティングはどんな影響を与えたのでしょうか。

**奥島** 当時、田舎にいれば、子ども心にも「世の中の役に立つ大人になりたい」と思ったものです。巨悪をくじく検察官や弱きを助ける弁護士など法律家になろうか、医者になろうか、ダム建設などに従事する土木技師になろうかなどと考えていました。ボーイスカウト

に入ってから3つのちかいと12のおきて※を唱える日々だったので、世の中のために汗をかき、弱い者のために涙を流すというのが生き方の基準だというふうに、自然と考えるようになったのだと思います。

——法律学者となり、会社法を専門にされました。企業はどうあるべきかを考えるコーポレートガバナンスなどの分野で第一人者になられた。

**奥島** 最初から学者になろうと思ったわけではありません。巡り合わせです。当時はマルクスに入れ込んでいた

ので、資本主義というものを法的に解明してやろうと思ったものです。そんな頃、読んだ書物の中に、『良き公民としての企業』という考え方がありました。スカウティングの目的は良き市民を作ることだと長年教えられてきましたから、会社法を専門として選んだことにもスカウティングの影響があったのかもしれません。

——宇和島時代の指導者から受けた影響が大きいそうですね。

**奥島** 隊長が魅力的な人でした。言葉で教えるだけでなく行動に筋が通っていました。率直な正義感とでもいいでしょうか。ちょっと間の抜けたところもあって、それがまた魅力なのです。そんな隊長の下でのボーイスカウト活動は面白くて仕方ありませんでした。米寿を過ぎた今でも隊長を囲む会を続けています。

——率直な正義感とは例えばどんなことでしょうか。

**奥島** 隊長は教育委員会にいた方なのですが、喧嘩ばかりしていました。自分が正しいと思うことは絶対に引き下がらない。上司と始終ぶつかっていました。しかし、正論を言っていると、必ずそれを理解して支えてくれる人が出てくるのです。不思議なものです。

——早稲田大学で、根強い反対があった中で、学部改革や経営改革に取り組んだ奥島さんの姿勢と通じるところがありますね。

**奥島** 私は自分自身の生き方としては、正論だと思えることは腹藏なく言う姿勢を貫いてきました。使命感を持った生き方こそがスカウトの生き方だと思うのです。今でも、様々な団体から理事などを頼まれます。頼む人たちは私がストレートにモノを言い、喧嘩してくれることを期待しているのだと思います。

——日本のスカウティングに山積する

## CONTENTS

- 02\_ 速報：22 WSJ フォトレポート  
08\_ 奥島理事長インタビュー  
10\_ 減少しない指導者の事故  
11\_ 第11回日本アグーナリー情報  
11\_ 信仰奨励  
12\_ 奉仕の精神を学ぶ  
13\_ エッセイ  
14\_ 特別寄稿  
新天地で新たな挑戦を  
—「三鷹の森」から「本郷の杜」へ—  
17\_ 日本連盟情報  
18\_ ローカルホットライン  
19\_ スカウティングの  
知っててちょっと良い話 (12)  
21\_ スマートネス  
23\_ 気象観測の現場から  
23\_ Creating a Better World  
25\_ スカウトショップ  
26\_ ともに進もう  
東日本大震災復興支援活動報告  
27\_ ニッポン全国元気団紹介  
釧路第6団  
28\_ アクティビティ  
秋の大地の恵み 芋大全  
30\_ スカウトスキル  
今こそ、自分エネルギーで、  
火を起こそう！

諸問題を改革する役割も担うことになりました。

【奥島】大好きなスカウティングですから、早稲田大学総長のときにボーイスカウト日本連盟の理事を頼まれたときは喜んで引き受けました。橋本前理事長が退任されるときに、バリバリの隊長経験も持つフジテレビ会長の日枝久さんをお願いすることを考え、私がサポートするつもりでいました。ところが理事会の席で、土俵際でウッチャられ、私が理事長をお引き受けすることになったのです。

—スカウティングの現状をどう見ますか。

【奥島】東京連盟の連盟長だったとき、スカウトたちとキャンプなどに一緒に行き、スカウティングがまるで変質してしまったのではないかと感じました。決して懐古趣味ではありません。スカウティングの魅力は、キャンプやハイキングなどの野外生活を中心に、ゲームなどを通じて様々なスキルを磨いていくことです。自然の中で自分が痛い目、苦しい目に遭えば、自ずから他人の痛みが分かるようになる。そうした充実感を含め、楽しくなければスカウティングではないのです。いま見ていると、座学が中心になって学校のお勉強のように見えます。昔のスカウトのにおいがしなくなったように思います。

学校でやらないことをスカウティングでやれなければ、魅力が失せてしまうのは当然です。指導者養成のあり方なども見直していくべきでしょう。

—長年議論があったスカウト会館の移転が実現しました。

【奥島】東京ドームのすぐ横、交通の良い良い中心地です。ここに連盟旗を掲げ、スカウトの標語などを貼ってスカウティングを大いに宣伝します。地方から上京するスカウトやリーダーが寝袋ひとつで気軽に泊まれるようにもしたいと思っています。都心に出ていくことを、日本のスカウト運動が攻めに転じるきっかけにしようではありませんか。

※昭和63年まで、おきては12あった。



聞き手：磯山友幸

経済ジャーナリスト。1962年生まれ。日本経済新聞社でチューリッヒ支局長などを務めて今年3月末独立。日本連盟広報委員。富士スカウト。

今月号14ページから、奥島理事長の特別寄稿を掲載しています。あわせてご覧ください。

## 日本連盟9月・10月の主な予定

(発行日時時点で実施済みのものを含みます)

## 9月2日(金)

- 広報委員会(第2回)
- アウトドアチャレンジ事業岩手県実行委員会(第4回)

## 9月3日(土)

- 指導者養成委員会(第2回)(~4日)

## 9月10日(土)

- 教育規程改定検討タスクチーム(第9回)

## 9月11日(日)

- 安全促進フォーラム(東京・三鷹)

## 9月13日(火)

- 政策委員会
- 運営会議

## 9月16日(金)

- APRトレーニングワークショップ(~20日)

## 9月17日(土)

- 全国県連盟コミッショナー会議(第2回)(~19日)

## 9月17日(土)

- 全国ユースフォーラム(~18日)

## 10月2日(日)

- 安全促進フォーラム(京都)
- 11NA実行委員会(第3回)

## 10月3日(月)

- 新BS会館始業(東京・本郷)

## 10月8日(土)

- WB実修所BVS34期(那須)(~13日)

- WB実修所CS151期(那須)(~13日)

## 10月11日(火)

- 政策委員会
- 運営会議

## 10月13日(木)

- 財務委員会(第3回)

## 10月18日(火)

- 理事会(第2回)

## 10月21日(金)

- 第14回日本連盟チャリティゴルフ大会

## 10月23日(日)

- 安全促進フォーラム(大阪)

## 10月29日(土)

- WB実修所VS20期(那須)(~11月3日)

- WB実修所BS176期(那須)(~11月3日)